



土に還るペット用骨壺の開発

助成金の活用や事業者とのマッチングによる付加価値向上の支援



大日堂株式会社

平成9年に創業し、一般顧客を中心に供養のサービスを提供しています。創業時は石材事業のみでしたが、平成12年に霊園事業、平成30年には仏具事業を開始し、現在では葬儀後の供養に関わるサービスをワンストップで提供できる体制を整えています。

所在地:広島市東区温品5-10-48

TEL 082-573-3300

URL <https://dainichido.jp>



相談内容

令和2年の新型コロナウイルス感染症の影響で、葬儀などを始めとした供養の状況が一変し、業績が低下しました。この状況が長く続くと判断したため、新たな収益の柱を模索し、既存事業と親和性の高いペットの供養に着目しました。コンセプトは「土に還るペット用骨壺」とし、開発検討を始めました。

製品開発を具現化するために「と、つくる」を活用してデザイナーを選定し開発を続ける中で、製品開発など事業化において解決すべき課題がみつかり、これらの課題を解決したいと相談がありました。

支援内容・成果

製品開発を進めていくための課題解決に向けて、新成長ビジネス事業化支援事業の活用を提案し、申請に係る支援を行った結果、「生分解性バイオプラスチックでつくる土に還るペット用骨壺」の事業内容で当助成事業に採択されました。これにより事業化を加速できることとなりましたが、試作製造において問題が発生し、開発の継続が困難となりました。

そこで、コーディネータの支援により、実現できる事業者を選定し、マッチングが成立したことで、継続することができました。他にもアクセサリ製造、パッケージ製作、素材提供など4者とのマッチングが成功し製品が完成しました。素材に関しては広島で大量に発生し、環境問題にもなっている牡蠣殻を活用することになり、新たな牡蠣殻の利用方法にも繋がっています。また、権利化についても、特許や商標申請などの必要な支援も行いました。支援を行なった結果、当初よりグレードが高く付加価値のある製品が仕上がりました。現在は販売に向けての準備を進めており、PRおよび販路拡大において継続した支援を行っています。



土に還るペット用骨壺



ジュエリーを活用した
アクセサリ



パッケージ